

【丹波活性化委員会】

委員長 村上 真也

所 信

丹波を元気にする良い方法はないでしょうか。

私たちの住むこの地域には、豊かな大自然が存在しています。そしてこの魅力を大切に育んできました。幾多の災害にもめげず立ち上がる、やさしく、忍耐強く、粘り強い気質を持ったひとが存在しており、これらすべて、歴史、自然、産業、食、ひとが集まって、この地域のまちの魅力を形成しているものと考えます。私自身、丹波の魅力についてまだまだ知らないところがたくさんありますが、もっと地域に暮らす一人ひとりが、そこにある魅力について認識を深め、丹波への想いをより深めることが必要なのではないでしょうか。それには幼い頃から地域の魅力を感じ、「こんなええところがあるんや」「こんなふうになったらええな」と自分の地域への関心を高め、その関心を深く掘り下げ、その先にある、未来についても考えていけるような事業、運動を展開していくことが重要であると考えます。

自分の地域について誇りを持って語れるひとづくりへ挑み続けることで、その地域の魅力が輝きを増し、ひとやまちもより一層元気になるでしょう。

昨年40周年記念事業の一つに10年先を見据えた丹波青年会議所のビジョン、『田舎力溢れる丹波の暮らしと「つながり」をデザインする』を発表させて頂きました。本年度、行動するときを迎え、メンバー一人ひとりが共に汗を流し、失敗を恐れずまちのことを考え、勇気と情熱をもって全力投球で果敢に挑みつづけます。そして、未来あるまちづくりへの第一歩となる活動をし、生涯その思い出をいつまでも語りあえる一年にしていきます。

基本方針

- 一、全力投球で、丹波を考える
- 一、丹波を探求するために J C 丹陰隊になる

事業計画

1. 丹波活性化事業例会
2. 11月例会
3. 会員拡大への絶対推進
4. 復興支援活動への協力
5. 一般社団法人の申請及び準備・協力
6. 行政や各諸団体との連携・協力・交流
7. 各委員会との連携及び支援
8. 理事長諮問に関する事項